



全労連青年部ニュース

YOUTH TOPIC

つながる・たたかう・支えあう青年部を


 ホームページ <http://www.zenroren.gr.jp/jp/seinen/> ブログ <http://blogs.yahoo.co.jp/zenrourenpower>

ユニオンニュースアカデミー2017

2017年5月20日、21日の両日のわたり全労連青年部はユニオンニュースアカデミー2017(ユニアカ2017)を開催しました。北は北海道、南は宮崎と全国から60人の青年が参加し、憲法と暮らしをテーマに労働組合活動の意義を学びました。

格差・貧困と戦争の深い関係～布施祐仁氏講演～



全体会では「格差・貧困と戦争の深い関係」というテーマで、布施祐仁さん(平和新聞編集長)による講演が行われました。布施さんは「米軍兵士の志願理由上位は大学進学や医療など。社会保障などセーフティネットの欠如ゆえの貧困が背景にある。つまり、形式的には志願制だが、実際には他に選択肢がないために選択を強いられているのだ。これを経済的徴兵制という。アメリカでは労働者階層や貧困層をターゲットにしたリクルートが行われており、高等学

校の生徒の情報に軍がアクセスできるようになっている」とアメリカ社会の実態を紹介しました。日本国内においても非正規雇用の拡大やワーキングプアの増大など貧困と格差は広がっている現状を紹介し、「日本も他人事ではない。実際に、自衛隊は経済的メリットを強調することで人員確保を行っている。大学に進学するよりも自衛隊に入ることがキャリアアップになることをアピールしたり、生活費がかからないことを前面に打ち出している。事実、平均収入の低い地域からの入隊者が多い。それは、将来戦死するかもしれない可能性よりも、目の前の安定を選ばざるを得ない状況に追い込まれている人が多いということ」とアメリカ社会の状況と日本は近づきつつある状況にあると訴え、日本もアメリカと同じように、身近なセーフティネットが軍隊という社会になりつつあることを指摘しました。

最後に「安定した雇用と労働者の権利、国民の生存権が保障された社会は戦争ができない社会だ。労働運動は平和を守る運動でもある」と貧困が戦争を支え、戦争がさらなる貧困を生み出すスパイラルから抜け出すためには、労働組合活動が必要であることを強調しました。(第7号へ続く)



建交労全国青年部愛知県本部バーベキュー交流集会

4月23日に全国青年部主催で愛知県青年交流集会を愛知県本部にて開催されました。

いま全国の組織において次世代を担う若手幹部の育成が急務の課題になっていると思います。全国青年部としても全国に点在する青年とのつながりを強め、青年部ならではの学習、交流等、様々な運動で共に成長することで建交労全体の底上げをはかるため、全国の仲間とのつながりをつくっていききたいという思いから、昨年は埼玉で首都圏青年交流集会を開催し、今年は愛知県に多数の青年組合員が点在することから愛知の仲間と交流と親睦を深めようと開催に至りました。

当日は学童保育の仲間を中心に全体で26名が参加し、愛知県本部の一階駐車場をお借りしてのバーベキュー交流会で大いに盛り上がり、菅野事務局長が持参してくれた地元青森の新鮮なホタテも大変好評でお酒もすすみました。さすが青年層が多いだけあってみんなよく食べる食べる！あつという間にお肉がなくなってしまい追加の買い出しが必要なほどでした。

これまでは全国青年部とのつながりがあまりなかった青年とのつながりをつくることができましたし、交流会でのつながりをいかして、今後もより多くの愛知県における青年組合員とのつながりを求めて青年部運動への参加を呼びかけていきたいと思います。

今回の青年交流会を開催するにあたりご支援ご協力頂いた愛知県本部の皆さんありがとうございました。(建交労より寄稿)



おねがい

各地の青年の取り組みを青年部ニュースにて掲載しますので下記送信先までお知らせください。

送信先:youth@zenroren.gr.jp